

Europe Indicators

発表日: 2024年2月16日(金)

欧州経済指標コメント: 10-12月期英国GDP速報

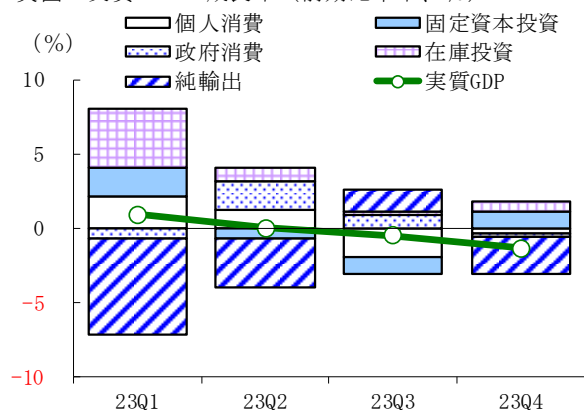
～景気後退も先行き改善の兆し～

第一生命経済研究所 経済調査部

主席エコノミスト 田中 理 (Tel: 050-5474-7494)

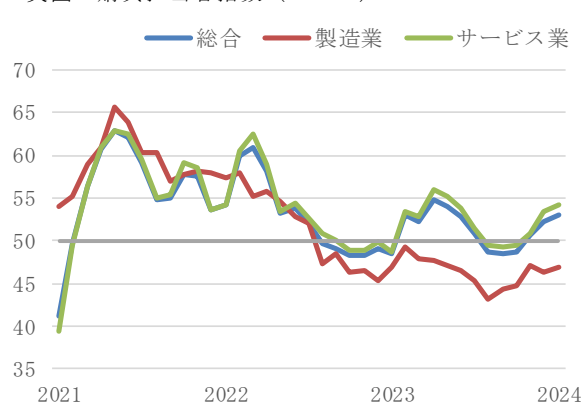
- 15日に発表された昨年10～12月期の英国の実質GDP成長率の速報値は前期比▲0.3%、同年率▲1.4%と、前期（同▲0.1%、同年率▲0.5%）に続いてマイナス成長を記録した。2四半期連続マイナス成長でテクニカル・リセッション入りを確認。2022年4～6月期以降、7四半期連続でゼロ近傍ないしマイナスと成長が停滞している。発射台（1～3月期の成長率がやや高かった）の高さに助けられ、2023年の年間成長率は+0.1%と辛うじてプラス成長を維持した。
- 10～12月期の需要項目別内訳は、前期に大幅に落ち込んだ設備投資が同+1.5%（前期は同▲2.8%）とリバウンド、政府投資が同+5.8%（前期は同+3.9%）が高い伸びを維持したものの、個人消費が同▲0.1%（前期は同▲0.8%）と2四半期連続で落ち込み、政府消費が同▲0.3%（前期は同+1.1%）と3四半期振りに減少、住宅投資が同▲1.9%（前期は同▲1.8%）と5四半期連続の減少、輸出の落ち込みが輸入を上回ったことから、純輸出が同寄与度▲0.6%ポイント（前期は同+0.4%ポイント）とマイナス寄与に再転落した。
- 10～12月期の業種別内訳は、製造部門が同▲1.0%（前期は同+0.1%）と4四半期振り、建設業が同▲1.3%（前期は同+0.1%）と3四半期振りに落ち込んだほか、サービス部門が同▲0.2%（前期は同▲0.2%）と3四半期連続で減少した。製造部門の内訳は、製造業が同▲1.0%、鉱業が同▲3.1%、電力・ガスが同▲2.6%と全般に弱い。サービス部門の内訳は、輸送・倉庫（同+0.3%）、専門サービス（同+0.2%）、事務サービス（同+0.6%）、行政サービス（同+0.3%）、健康・社会（同+0.2%）が増加した一方、卸小売（同▲0.6%）、宿泊・外食（同▲0.2%）、情報通信（同▲0.4%）、金融・保険（同▲0.2%）、教育（▲0.7%）、教養・娯楽（同▲1.1%）が減少。
- 2四半期連続マイナス成長とは言え、景気の落ち込みはそれほど大きい訳ではない。代表的な企業景況感である購買担当者指数（PMI）は、製造業の不振が続く一方で、昨年11月以降、サービス業主導で好不況の分岐点である50を回復した。こうした動きはGDPと食い違いますが、賃上げと物価沈静化に伴う実質賃金の回復、エネルギー価格のピークアウトなど、景気を取り巻く環境は徐々に上向いている。金利上昇による金融環境の引き締めやポンド高に伴う輸出環境の悪化が景気の足を引っ張るが、年明け以降の英国景気は緩やかなプラス成長への復帰を見込む。
- 10～12月期の成長率はBOEの想定（同▲0.1%）を下回った。インフレ率のピークアウトと相俟って、利下げ開始の環境が整ったとみることもできるが、賃金やサービス物価の高止まり、景気回復の兆しもあり、タカ派の説得には追加材料が必要とみる。
- 景気の下振れとテクニカル・リセッション入りを受け、必要な財源が確保できない見通しとなったことから、ハント財務相は3月の春季予算で計画していた所得税率の引き下げを見送る可能性を示唆している。秋から冬に予想される総選挙に向けて、保守党には更なる逆風となりかねない。

■英国の実質GDP成長率（前期比年率、%）



出所：英統計局

■英国の購買担当者指数（PMI）



出所：S&P Global

■英国GDP（前期比年率<%>、括弧内は寄与度<%ポイント>）

	名目GDP	実質GDP	内需				外需			
			個人消費	政府支出	固定資本投資	在庫	輸出	輸入		
22/1-3月期	8.0	2.1	(21.6)	3.1	4.2	22.1	(▲ 7.8)	(▲ 19.5)	▲ 27.2	43.9
22/4-6月期	8.8	0.3	(▲ 3.7)	1.6	▲ 10.0	1.8	(2.9)	(4.1)	25.3	8.1
22/7-9月期	6.1	▲ 0.3	(▲ 19.1)	▲ 3.6	1.9	7.1	(▲ 24.5)	(18.8)	52.0	▲ 12.0
22/10-12月期	10.0	0.4	(0.6)	▲ 0.3	▲ 2.3	2.3	(0.9)	(▲ 0.2)	1.4	2.1
23/1-3月期	8.1	0.9	(7.4)	3.6	▲ 3.2	10.6	(▲ 3.5)	(▲ 6.5)	▲ 22.3	▲ 4.7
23/4-6月期	9.9	0.0	(3.4)	2.0	9.9	▲ 3.4	(▲ 5.1)	(▲ 3.4)	▲ 3.1	7.8
23/7-9月期	3.0	▲ 0.5	(▲ 1.9)	▲ 3.2	4.5	▲ 5.4	(2.2)	(1.4)	▲ 3.2	▲ 7.1
23/10-12月期	▲ 0.7	▲ 1.4	(1.1)	▲ 0.6	▲ 1.2	5.8	(▲ 2.9)	(▲ 2.5)	▲ 11.0	▲ 3.2

出所：英統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

